



市からのお知らせをメールで配信しています。右記 QR コードを読み込むか、我孫子市携帯サイト (<http://www.city.abiko.chiba.jp/mob/>) へアクセスしてください。パソコンからは、市ホームページ内「メール配信サービス」をご覧ください。



アプリ「マチイロ」で広報あびこが閲覧できます。アプリは左記 QR コードからダウンロードできます。

## The World Doll Private Museum 世界の人形館 代表 高 康治さんが寄付金を贈呈

### 寄付金贈呈式

1500万円のご寄付をいただき、8月28日に贈呈式を行いました。



▲高 康治さん(83歳)、星野市長

### 贈呈式後の対談

星野市長 今日とは思入れがある人形をお持ちいただきました。どのような人形ですか。

高さん 1996年にラトビアで購入したマトリョーシカ人形で、中に9体入っています。市場で貧しい少女が売っていたんです。もう1体は1997年にベトナムで購入した、アオザイを着た写真写りも極めて美しい人形です。人形から国の歴史・文化・経済など、国状が見えてくる。子どもたちが人形館に来た時は国の状況も教えています。

### ◎寄付は「私の集大成」

高さん これまで「かたらいベンチ」の寄付、市民団体への活動資金の援助、小・中学校への地球儀の寄贈など、地域に貢献してきた集大成として、寄付することにしました。新型コロナウイルス感染症が経済や生活に大きな影響を与えている中、我孫子市や社会を明るくしようと思いました。



妻が入院していた時に1人暮らしになり、不安になり、4年前から我孫子北地区社会福祉協議会の「もしもしコール」に大変お世話になっています。その恩返しという気持ちもきっかけの一つです。感謝しています。

星野市長 高さんには、これまでさまざまな活動を通して子どもたちを支えてもらっています。これからも元気に我孫子の街を応援していただきたいと思います。

### ～世界の人形館とは～

高さんが50年の間、北極点や南極を含めた275の国や地域を巡り集めた人形や置物、仮面、紙幣・コインなど約10万点を自宅に展示し無料開放しているプライベートミュージアムです。



見学を希望する方は、必ず事前に電話・Eメールで予約してください。

☎・📧 我孫子2の3の1026 (我孫子駅北口徒歩6分) 世界の人形館 ☎7184-4745 📧ko-yasu@maple.ocn.ne.jp



## みんなの知恵を集結！オンラインで進化する 市民のチカラまつり2020



特設サイト▲

オンライン ◎Zoom講座(要申込) 日にち 9月27日(日)

### Room1

▶子ども簡単料理教室「作ってみよう簡単おやつ」小学生先着10人

時間 午前10時～11時30分 講師 全国友の会我孫子支部

▶ポリ袋クッキングで美味しく楽しいスマートライフ 先着15人

時間 午後1時30分～3時30分

内容 炊き込みごはん、豚の角煮、カレーなどの作り方 講師 NPO食の会あびこ

### Room2 あびじよカフェ企画

▶子育て世代のしゃべりば！「あびこ×子育て×働く」トークセッション 先着10人

時間 午前10時～正午

▶筑波大学発おもしろふしぎ理科実験 小学生先着20人

時間 午後1時30分～3時 内容 駄菓子屋で買えるおもちゃで理科の楽しさを学ぶ

講師 小林正美さん、サイエンスクラブ「これからっつ」

### Room3 あびじよカフェ企画

▶3児のママ栄養士が伝える、幼児食で未来のカラダ作り 先着20人

時間 午前11時～ 講師 中田恵理さん

▶子どもを伸ばす親子のコミュニケーション講座 先着15人

時間 正午～ 講師 中村晴美さん(マザーズコーチング認定ティーチャー)

▶三世代で学ぶ靴選び 先着10人

時間 午後1時～ 講師 荒井淳子さん(理学療法士)

▶子どもの心を育む本の選び方 先着10人

時間 午後2時～ 講師 辻岡望美さん(おはなしの樹)

オンライン ◎YouTube動画配信(随時配信中) ※団体名のみ記載

アンサンブル ルミエール/伝統芸能 にこにこ会/ナチュラルモダンバレエスタジオ/モノオペラ「焼き場に立つ少年」を次世代に伝える会/アシの会(ナンプレ～初歩から超難解問題～)/あびこ市民活動ネットワーク・あびこ市民活動ステーション/ボイスカウト我孫子第1団、第2団/NPO法人あびこ・シニア・ライフ・ネット

※特設サイトでは我孫子を知るクイズ「アビチャレQ」を実施しています。



▲Youtube

### 展示・実演・参加型

アビスタストリートとけやきプラザ第1ギャラリーでは市民活動団体の紹介展示、けやきプラザ第2ギャラリーでは制服・学用品リサイクル(要申込)、アビシルベでは竹灯ろう制作実演を実施します。

☎・📧 市民活動ステーション ☎FAX7165-4370 📧abikosks@themis.ocn.ne.jp

## 広告掲載枠

会社やお店のPRにご活用ください

規格 縦11.5cm×横8cm

掲載料 1枠2万円(最大3枠まで)

☎・📧 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

## 広告掲載枠

会社やお店のPRにご活用ください

規格 縦11.5cm×横8cm

掲載料 1枠2万円(最大3枠まで)

☎・📧 秘書広報課広報室 ☎7185-1269

## あびこ50年物語

一行商から生まれた多品目の農産物

50年前は、農家が何十キロものさまざまな農産物を背負い、常磐線に乗って都内で販売する「行商」が盛んに行われていました。行商は、関東大震災で都内の物資が不足したことから普及したといわれています。当時の常磐線の電車には行商専用車両があるほどでした。湖北駅には荷物を担いだままでも一休みできる行商台(担ぎ台)が今も残っています。



こうした背景もあり、我孫子の農業には、1年を通してさまざまな農産物を生産する「少量多品目」という特徴があります。

現在は行商を行う農家は少なく、交通手段も車に変わりましたが、多品目の農産物が直売所に並んだり、飲食店で活用されるなど、行商で培われた特徴は今も根付いています。